

製本のススメ

Vol. 61

節分で豆をまき鬼が追い出され福を呼び込み、さあ今年も本格的に頑張っていきましょう！という気分ですね。どんなに不景気でも桜は開花し緑は芽吹きます。必要な事を坦々とこなすとは大切な事ですね。

今回から**基本**の話し

ススメの2回目が始まって5年経ち、今回から3回目のスタートになりました。5年も経つと新人もすっかり一人前ですが、改めて初心に戻りまずは**製本の絶対条件！【製本加工は紙揃え】**から、おさらいしていきましょう。

印刷も製本も、紙を揃える事は大切ですが、特に製本では大きさの違う用紙と一緒に揃えるという事が頻繁に有ります。例えば本文の一部にハガキや振込用紙の様なサイズ違いの物(総称して**付き物**と呼びます)が入っている場合。これは想定内ですので、まず糊で貼り位置がずれないように準備ができます。しかし、用紙の大きさが同じなのに、印刷位置が違うという物が最近多く発生しています。針クワエが飛んでいるのは印刷ミスですが、**ドブ幅が違うのは紙に印刷するより前工程の問題**ですね。

1冊の冊子の中でドブ幅が違う事は絶対に有りえません！例えば1折り～3折りまでは3・3のドブで印刷されたとしましょう。次の4折り～6折りは4・4のドブで印刷されていたらどうでしょう？まず折丁を全て1ミリ断裁しなくてはなりません。そうしないと揃えたときに1ミリ印刷位置がずれてしまうからです。短納期を迫られる製本工程では、全体の刷本状態を見ずに、刷了台から加工に入る事もしばしばあり、最後の台でドブ幅が変わり、既に折った物を全部切り落とすという大作業になります。当然ですが加工時間に大きな影響があり納期遅れが有るだけでなく品質保持も難しくなります。(折り済みの物を1ミリだけ正確に切り落とすなど不可能だからです)

製本は紙揃え！印刷位置が何処であろうと紙の縁(7千)で揃ってしまいます。ですから**表紙から本文までドブ幅は同じ事が製版から製本までの共通ルール**です。特に外注先に出す場合には(表紙のみや、本文の一部など)十分打ち合わせをしておきましょう。(余談ですがこの紙の縁が**針とクワエ**です。しっかり覚えましょう！)



Teabreak

寒い時には甘酒です♪江戸時代には夏場に栄養補給をする飲料だったようで俳句の世界では「甘酒は夏の季語」だそうです。また発酵食品でもある甘酒はジャパニーズヨーグルトとさえ言われ、その成分は点滴にも匹敵！さらに生姜を入れて殺菌効果・血行不良改善と美味しい総合栄養ドリンクです。おまけに美肌効果まで！こうなると、もう一年中甘酒ですね。

by (株) 井関製本